

米海兵隊岩国航空基地 2012年 日米親善デー FRIENDSHIP DAY 2012. 5. 5

5月5日、米海兵隊岩国航空基地において、同基地が主催する日米親善デー（フレンドシップデー）が開催されました。

昨年は、東日本大震災の影響で開催されなかったため、2年ぶりの開催であり、滑走路が沖合に約1キロメートル移設されて初めての開催となります。

当日は、好天に恵まれ、航空ファンや家族連れが多く詰めかけ、過去最高の28万人を超える人出で賑わいました。



■ ■ 岩国基地に関する協議会(第7回)を開催 ■ ■

5月22日、中国四国防衛局 辰己昌良局長、岩国市 福田良彦市長、山口県 小松一彦総務部理事らが出席して「岩国基地に関する協議会(第7回)」が岩国市役所で開催されました。

この協議会は、米海兵隊岩国航空基地に係る安心・安全対策について、共同して問題解決を図るため、三者が定期的に協議を行っているものです。

今回の協議会では、地域振興策や住宅防音工事の拡充、航空機の騒音規制措置、日米交流事業等について、約1時間45分にわたって協議を行い、協議会終了後には共同記者会見を行いました。



記者会見する辰己局長(左)、福田市長(中央)、小松理事(右)

協議概要

今回の協議においては、岩国市から、告示後住宅を含め、住宅防音工事未実施世帯の工事が早期に完了するよう、一層の事業促進について要望があり、当局は、「現下の国の厳しい財政事情の下、住宅防音事業に積極的に取り組んでおり、今後とも努力を継続したい。」と回答しました。

この他にも、地域振興策、航空機の騒音規制措置、日米交流事業、岩国基地工事の地元企業受注状況、工事関係車両による渋滞緩和対策、民航再開に向けた取組状況、航空事故等が発生した場合の連絡通報体制など、多岐にわたる項目について幅広く協議が行われました。

また、福田市長から、海上自衛隊の岩国残留の早期決定及びF A - 1 8 スーパーホーネットによる試験飛行の実施について、改めて要望をいただきました。

協議会終了後に行われた共同記者会見においては、福田市長から、安心・安全対策に関連して、主に住宅防音工事の拡充、航空機の騒音規制措置などについて協議を行ったが、進展があったものについては評価する一方、現在の状況も確認しながら、達成できていない項目について、引き続き、国において誠意を持って取り組んでいただきたいとのコメントがありました。

当局としては、周辺住民の皆様の御不安や御懸念をできる限り払拭できるよう、今後とも、誠心誠意努力してまいりたいと考えています。

■ ■ 島根県知事 岩国飛行場を視察 ■ ■

6月1日、島根県 溝口善兵衛知事が、米海兵隊岩国航空基地を視察されました。

溝口知事は、同基地 ジェームズ・C・スチュワート司令官及び海上自衛隊第31航空群 小松龍也司令を表敬訪問し、それぞれの部隊が概況説明等を行いました。

その後、中国四国防衛局 辰己昌良局長が基地内の滑走路移設事業や米軍再編関連工事の状況などについて、現地で説明を行いました。

溝口知事は、スチュワート司令官を表敬した際に、島根県西部地域を中心に米軍機の飛行に伴う騒音に対する苦情やいろいろな不安が生じており、こうした地域の住民へ配慮して欲しいと伝えました。

スチュワート司令官は、米軍は日本の安全、日米同盟のために必要な訓練をしており住民の方々にも理解してもらいたい、住民への影響については最小限となるよう努力していきたいと述べました。



米海兵隊岩国航空基地からの概況説明



説明する辰己局長(左)と溝口知事(右)

■ ■ 第2回 美保基地に関する意見交換会を開催 ■ ■

5月26日、航空自衛隊美保基地において、第2回美保基地に係る意見交換会を開催しました。この意見交換会は、美保基地における次期輸送機C-2への機種変更等に係る協議に際し、地元自治体等から要望があったもので、当局及び航空自衛隊美保基地、島根県、松江市、八束地区自治会連合会が、八束地区と美保基地に関する諸課題について意見交換や情報交換を行いました。

意見交換会の後、八束地区自治会連合会の方々には、管制塔、フライトシミュレータやC-1輸送機などを見学するとともに、美保基地から説明を受けました。



第13及び第14旅団との基地問題連絡調整会議

各旅団との基地問題連絡調整会議は、中国四国防衛局と各部隊の防衛施設周辺対策事業等に関係する関係者が一堂に会して、周辺対策事業を含む各駐屯地・演習場等の安定使用に係る施策について、意思の疎通を図り、円滑な業務に資することを目的として、年に1回定期的開催されています。

第13旅団

5月17日に開催された13旅団との会議では、中国四国防衛局から同旅団の警備地区内に所在する防衛施設に関連した周辺対策事業の現状や地元要望等について説明し、部隊からは、各駐屯地が抱える用地管理の問題点や基地問題等の説明があり、それぞれについて質疑や意見交換を行いました。



第14旅団

5月22日に開催された第14旅団との会議では、第13旅団と同様に周辺対策事業の現状や地元要望、駐屯地が抱える基地問題等について、質疑や意見交換を行いました。

また、第14旅団警備地区には平成23年度末に開設した徳島駐屯地があり、新たに防衛施設が所在することとなった地元地方公共団体や地域の意見・要望などについても意見交換を行いました。



中国四国防衛施設地方審議会

■ ■ 神津善三郎 前会長に感謝状を贈呈 ■ ■



感謝状を贈呈する辰己局長(左)と神津前会長(右)



6月4日、神津善三郎 前中国四国防衛施設地方審議会会長に対して、辰己局長から感謝状を贈呈しました。

同氏は、永年にわたり広島防衛施設地方審議会会長及び中国四国防衛施設地方審議会会長として、防衛施設に関する業務に深い理解を示され、その在任期間中において、同審議会の審議会運営規則を制定し、また、陸上自衛隊第2混成団の旅団化や岩国飛行場における旧軍未登記財産の処理について、適切な意見や提言をいただき、地元折衝などの当局が行う防衛行政の円滑な実施に多大な貢献をされました。

■ ■ 神津会長がプロ野球の始球式 ■ ■

4月17日、中国四国防衛施設地方審議会 神津善三郎会長が、広島県呉市で2年ぶりに行われたプロ野球公式戦（広島対DeNA）の始球式を務められました。

この対戦は、呉市制110周年の記念事業も兼ねて行われ、小村和年呉市長も観戦するなか、同会長は、約1万2千人の観客の前で華麗なフォームから見事ストライクを投じ、観客を沸かせました。

対戦結果は、広島がDeNAを無失点に抑え、3対0と快勝し地元ファンを喜ばせました。



在日米陸軍第83兵器大隊司令官

ジェームズ・P・フーパー中佐に感謝状を贈呈



5月31日、在日米陸軍第83兵器大隊司令官フーパー中佐に辰己局長から感謝状を贈呈しました。同中佐は、就任以来、複雑困難な諸問題の解決に貢献されました。

感謝状を贈呈する辰己局長(右)とフーパー中佐御夫妻(左)

特に、川上弾薬庫周辺地域の騒音苦情に対して、騒音源となる廃弾処理施設の運用に配慮し、また、同地域の清掃活動等に積極的に参加するなど地域住民との交流を図り、友好関係の構築に努められました。

潜水艦「けんりゅう」入港式



4月11日、潜水艦「けんりゅう」の入港式が海上自衛隊呉基地 係船堀地区で行われました。

「けんりゅう」は、平成24年3月16日に竣工した最新鋭の潜水艦で呉基地に司令部を置く第1潜水隊群に配備されました。

当日は、雨の中、呉地方総監 泉三省海将ら約300人が、Sバースで出迎えました。

乗員らは入港後に整列し、艦長 岡林真人2等海佐が「練度を高め、海上防衛の中核として一日も早く機能するよう努力する。」とあいさつをしました。



Sバースに整列した乗組員



防衛施設周辺自治体の補助事業

再編交付金

在日米軍の再編による平和と安全の利益は、国民が等しく受けますが、そのための負担は一部の地域が負うことになります。

このため防衛省は、「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」に基づく再編交付金を山口県岩国市、周防大島町、和木町、広島県大竹市に交付しており、対象事業としては、公共用の施設整備だけでなく、住民生活の利便性の向上や産業の振興に寄与するようないわゆるソフト事業も対象としています。



グランド照明(周防大島町)



往診車(周防大島町)



公共交通活性化(バス等運営費)(大竹市)



水道施設整備(岩国市)



道路改良舗装(岩国市)

クロスカントリー大会



わき愛あいフェスティバル



ローズフェスタ



地域振興(和木町)

防衛施設周辺自治体の補助事業

調整交付金



ごみ運搬車(松茂町)



オープンカフェテラス(奈義町)



給食運搬車(松茂町)



野球場グラウンド整備(奈義町)



スポーツトラクター(奈義町)

防衛省では「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づく特定防衛施設周辺整備調整交付金は、公共用施設の整備だけでなく、医療費の助成やコミュニティバスの運営費の助成などのいわゆるソフト事業も対象としています。

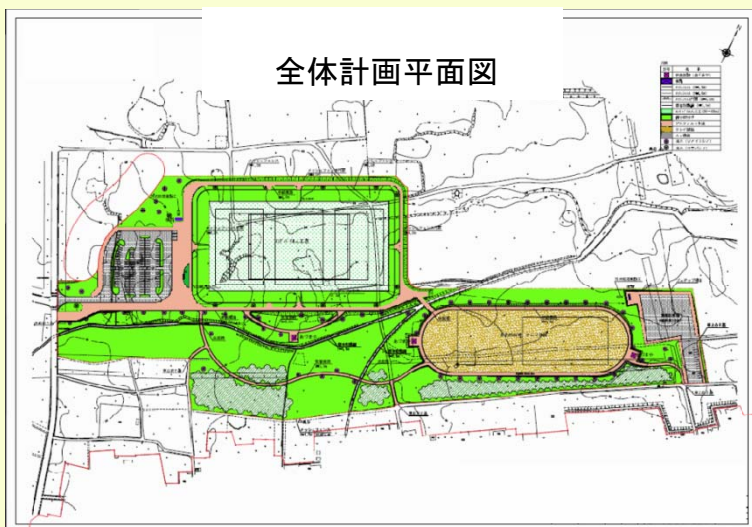


屋外ステージ(奈義町)

美保飛行場周辺財産の利活用

中国四国防衛局は、航空自衛隊美保基地の東側に隣接する美保飛行場周辺財産の積極的な利活用を推進するため、地元米子市及び地元地区の要望を踏まえ、サッカー場及び多目的広場を中心とした公園的施設を大篠津地区に整備しています。

平成21年度から始まった工事は、平成24年3月末には川尻川以南の東側駐車場及び多目的広場等の整備が完了し、現在は、米子市の管理の下、地域住民の皆様が活用されています。今後、北側の造成工事を行い、西側駐車場及びサッカー場等を整備する予定です。



全体計画平面図



多目的広場と東屋



多目的広場



東側駐車場

■ ■ 第14旅団・善通寺駐屯地記念行事 ■ ■

4月29日、第14旅団は旅団創隊6周年・善通寺駐屯地開設62周年記念行事を行いました。観閲式において、第14旅団長 永井昌弘陸将補は「地域のために、地域とともにを合言葉に信頼される駐屯地、旅団となるべく精進・努力を重ねていく」と決意を述べました。

会場には、市民ら約12,000人が来場し、観閲行進や模擬戦闘訓練、各種装備車両などを見学し、オートバイドリル、空挺降下や音楽隊による演奏なども行われ、観衆から大きな拍手と歓声が上がっていました。



第14旅団長 永井昌弘陸将補



模擬戦闘訓練



観閲行進

■ ■ 航空自衛隊 航空祭 ■ ■

美保基地航空祭(5月27日)



防府航空祭(6月3日)



航空自衛隊美保基地と防府北基地において、2012年航空祭がそれぞれ行われました。各基地に所属する航空機や他の基地から飛来したF-15やF-4、F-2などが展示飛行を行い、会場では、音楽隊などの演奏もあり、多くの来場者から大きな拍手が起こったり、子どもたちは、ミニ電車に乗るなどして楽しんでいました。

施設整備工事紹介

地下タンク安全対策工事



広島県江田島市に所在するLCAC整備場の隣接地（民有地（畑））の地下に、旧軍時代に建設され、現在、防衛省所管行政財産として管理している5万トンの地下タンク2基が所在しています。

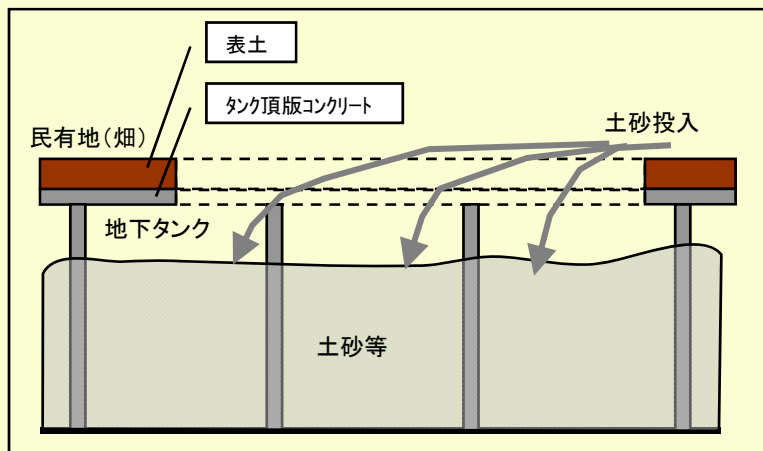
このタンクを調査した結果、「内部は鉄筋の腐食が進行し、特に頂版コンクリート内の鉄筋の腐食が著しく、崩落の危険性があると予測され、早急に安全対策の処置を講じる必要がある。」ことが判明。

平成22年度から安全対策工事を発注し、現在は、タンクの頂版コンクリートの撤去が終了し、タンク内部への土砂による埋め戻しを行っており、平成24年度末に完了する予定です。



整備概要

タンク頂版コンクリートを撤去し、土砂を埋め戻し・敷き均し・締め固め



■ ■旧海軍第六潜水艇殉難者103周年慰霊祭■ ■

4月14日、山口県岩国市沖で102年前に沈没した旧海軍第六潜水艇乗員の慰霊祭が、事故現場に近い岩国市装束町の記念碑前で、福田良彦岩国市長をはじめ、海上自衛隊第31航空群司令小松龍也海将補、辰己昌良中国四国防衛局長や市民ら約200名が参列して行われました。

第六潜水艇は、明治43年4月15日、潜航訓練中に事故を起こし、海底に着底し乗員全員が亡くなっていますが、14名の乗員は、最期まで持ち場を離れず復旧修理に当たりました。

佐久間艇長は、乗組員が冷静沈着な行動をとった様子や事故の原因、遺族への配慮など

を遺書に残しており、これら乗員の行動は、遺訓として多くの市民に語り継がれています。

主催した「第六潜水艇殉難者遺徳奉賛会」の長野寿奉賛会会長(岩国商工会議所会頭)は、「死を前に最後まで職務を全うした精神を後世に伝えたい。」と挨拶。参列者は、乗員を偲び記念碑に向かい黙祷するとともに、海上自衛隊岩国航空基地の儀仗隊が敬礼を行い、殉職した乗員に対し弔意と敬意を表しました。



高知県香南市

■ ■どろめ祭り■ ■

4月29日、陸上自衛隊高知駐屯地が所在する高知県香南市で、お酒の飲みっぷりや早さを競う「どろめ祭り」が開催されました。朱塗りの大杯に男性は1升、女性は5合の日本酒をみなみついで、ドロメ(マイワシやウルメの稚魚)を肴に一気に飲み干します。

地元高知では、まさに「土佐流・少々(升・升)飲む」ここに土佐あり。だそうです。



(写真提供:香南市)